



2009年 1月19日

マスコミ関係者各位

## 明治学院 コンサート・シリーズ第13回 「新春コンサート」

若手を中心とした、第一線のプロ演奏家の澁刺とした演奏を、広く一般の聴衆の方に無料で楽しんでいただくシリーズです。

今回は、新春に相応しい爽やかなモーツァルトの室内楽を二曲と、シューベルト晩年の傑作で、古今の弦楽四重奏曲の最高峰ともいえる「死と乙女」を演奏します。また、20世紀フランスの作曲家ジョリヴェの「狂詩組曲」は、民族色のある魅力的な作品です。

チェリストとしても活動する国際学部の半澤朝彦准教授がプロデュースし、演奏にも参加します。室内楽にぴったりの、都内でも屈指の音響を誇るアートホールで、ぜひ、緊密で豊かな響きをお楽しみください。予約不要、入場無料でどなたでもご来場いただけます。

日 時：2009年1月30日(金) 19:00開演(18:30開場)

場 所：明治学院大学 白金キャンパス パレットゾーン2階 アートホール  
(地下鉄南北線・三田線「白金高輪駅」徒歩7分)

※駐車場の用意がございませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

入 場 料：無料。どなたでもご来場いただけます。

曲 目：モーツァルト/喜遊曲 ヘ長調 k.138

ジョリヴェ/無伴奏ヴァイオリンのための「狂詩組曲」

モーツァルト/ヴァイオリンとヴィオラのためのデュオ

ト長調 k.423

シューベルト/管弦四重奏曲 第14番二短調「死と乙女」

出 演 者：廣瀬 麻名(ヴァイオリン)，竹内 弦(ヴァイオリン)，

山本 法子(ヴィオラ)，半澤 朝彦(チェロ)

※演奏家のプロフィールは、大学ホームページのイベント欄をご覧ください。

<http://www.meijigakuin.ac.jp/event/archive/2008-10-07.html>

お問合せ：明治学院大学 国際学部事務室 Tel 045-863-2200